



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町総務課 ☎52-1111 発行 2月20日 No 253

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



豆まきに歓声

「節分の日」を翌日に控えた2月2日、すみれ保育園では豆まきを開催。一鬼は外、福は内一の元気な声が会場にこだましていました。

平成3年
/ 2月号



4階平面図



200名収容の大会議室



広くなった玄関ロビー



2段式の窓口カウンター



各課間の壁や高いキャビネットを取り除いてオープンに



案内と電話交換



200名収容の大会議室 エレベーターも設置

完成した庁舎は、増築部分がエレベーター付きの四階建て、二百名を収容できる大会議室を設置。改築部分も壁を新しく塗り替えるとともに、正面玄関を自動ドアにし、ロビーにゆとりのスペースを設けるなどその装いを一新。また、一階と四階に身障者用トイレを設け、窓口のカウンター

総事業費は三億五千万円

も身障者や高齢者が利用しやすいよう高さを二段式にするなど、利用者の立場に立った工夫が凝らされています。面積は増築部分を合わせて四、〇九一・七四平方メートル。総事業費は約三億五千万円。庁舎の完成を機に、教育委員会も中央公民館から増築棟に引越しており、能率的な職務体制の保持と住民サービスの向上が図られるものと期待されています。(各課の配置は四ページの平面図を参照)

庁舎の増改築が完成

広さは従来の一・七倍

役場庁舎の増改築工事がこのほど完成、一部四階建て、面積もこれまでの約一・七倍とゆとりのある庁舎が誕生しました。増改築は町制施行四十周年記念事業として取り組んだもの。従来の庁舎が急激な人口増加と行政事務量の増大に伴い手狭になっていたため、将来をにらんだ施設規模を念頭に昨年二月増改築に着工。増築部分は昨年十一月末に、既存施設の改築もこのほど完成の運びとなったものです。

町制四十周年記念事業



平成三年の新春を飾る消防出初式は一月十四日、大勢の町民が見守る中、岩下橋下流の河川敷で開かれました。
式典に先立ち午前七時十分、ミニ消防車を先頭に、消防指揮車や

1月14日
消防出初式を開催
優勝は第七部

ポンプ車、補給車、一水槽付積載車など十二台が役場前を出発。サイレンや半鐘を鳴らし、赤色灯を点滅しながら河川敷までパレードを行い、中村団長以下百五十人の消防団員全員が会場に集合しました。

式典は午前八時三十分、消防団旗の入場で開始され、物故者に対して黙とうを捧げた後、機動本部から第七部まで各部ごとに人員・服装・規律、機械器具、分列行進、発水の順で

出初式の成績

- 優勝 第七部
 - 二位 第六部
 - 三位 第三部
- 県知事表彰**
原口隆志
県消防協会長表彰
上原雅彦 大坪博文
都城支部長表彰
神崎孝弘
第二部（中内春雄部長以下23名）

点検が行われました。発水では全消防団員が一丸となって対岸に向けて一斉放水を披露。団員の機敏な動きと色とりどりの水の放列に、詰めかけた観客からどっと歓声があがっていました。
その後、成績発表や賞状の授与があった後、福永町長が「消防出初式は自治体消防の志気を高揚する消防行事最大の式典です。この式典を契機に、さらに防火、防災体制の確立に留意し、団結を固め、町民の信頼と期待に応えてください」と訓示。続いて優良団員や団体の表彰が行われました。
なお、出初式の成績、被表彰者は次のとおりです。

町長表彰

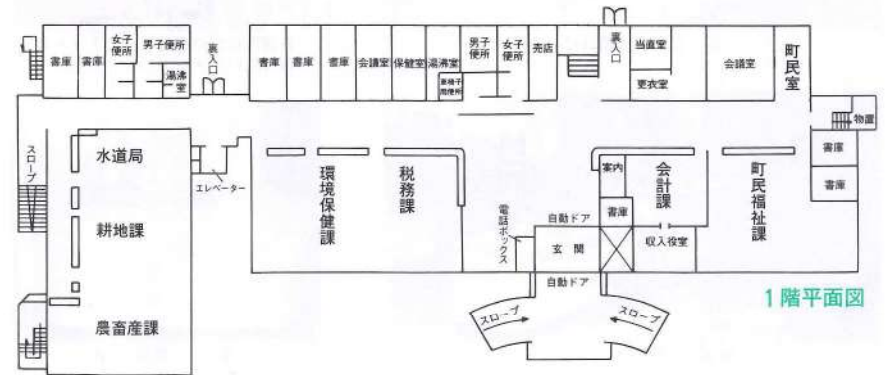
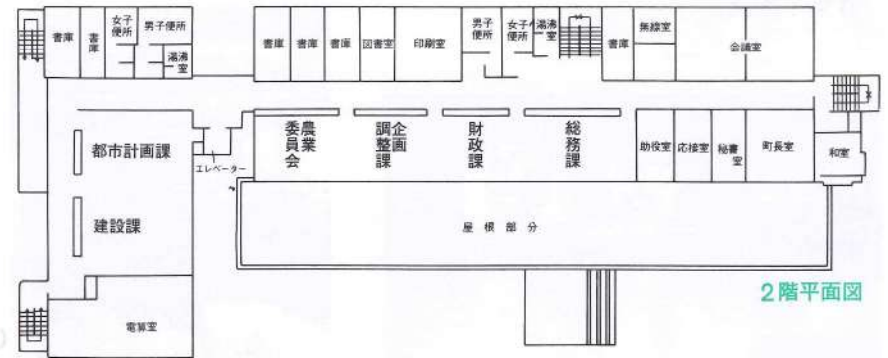
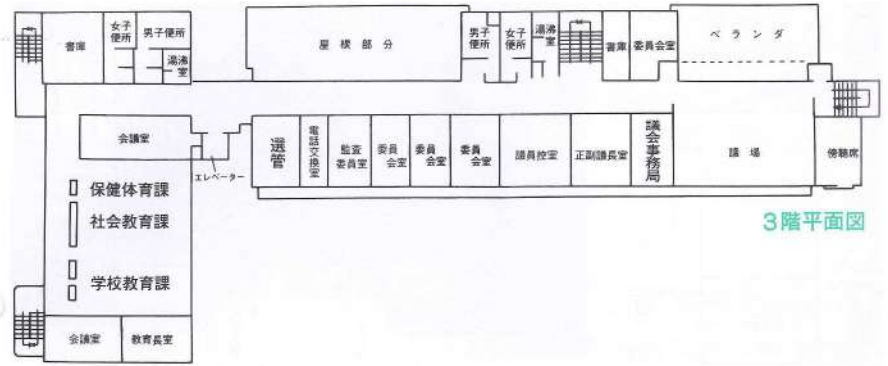
- 木下行春 野崎忠彦
- 桑畑良一
- 本佐賢辰生 桑畑政三
- 小牧安治 上石成久
- 大村福一 上原泰伊
- 盛田敏郎 別府隆人
- 中村 莊 小牧清隆
- 日高輝幸 小牧 貢
- 綿屋良明 久永一博
- 今井正仁 吉行敬一郎
- 嘉藤 取

団長表彰

- 出水健一 吉川真矢 原田信孝
- 大脇吉美 吉川勇一郎 栗野信秋
- 野崎秀一 宮越信一 中村 勇
- 朝倉勝昭 松崎清一 中原信昭
- 岩崎三博 黒坂 勉 川上佳浩
- 清水弘三 日高隆光
- 農業共済組合長表彰**
機動本部 第六部 第七部



式典に花をそえた幼年消防隊



充実した「第二の人生」を!!

シルバー人材センター

みなさん、「シルバー人材センター」って、ご存知ですか？
シルバー人材センターは、仕事を定年退職された方や家業を後継

豊かな知識・技能を地域社会に



者に譲られた方、あるいは子供が独立して閑静な日々を送られているご婦人など高齢者が、その豊かな知識や技能、趣味などを地域社会に役立てながら、

平均寿命は著しく伸び、平成元年

三股町でも
百二十名が会員登録
さらに募集中です!

三股町でも平成元年五月にシルバー人材センターが設立され、現在、百二十名が会員登録。それぞれ自由時間の持てる範囲内で、賞状書きや病人看護、植木の

で男性が七十五・九一歳、女性が八十一・七七歳と世界の最高水準に達し、人生八十年時代ともいわれています。六十歳で仕事を定年退職したとすると、男性で約十六年、女性で約二十二年の平均余命があることになりました。
この長い老後をどう生きるか、充実したものにするにはどうしたらよいのか。ここに登場したのがシルバー人材センターです。センターの諸活動を通して多くの高齢者が生きがいを見出し、健康の保持増進が図られ、医療費の抑制対策としても大きな成果があげられています。



会員の声

庭木のせんだに活躍



細山田 斉さん (86歳・東原)

仕事を定年退職してブラブラしていましたので、何かをしなればと思い、シルバーに入会しました。現在、二、三人で庭木のせんだに回っていますが、せんだの技術はシルバーで覚えたんですよ。利用者の方に喜んでもらえるのでやりがいがあるし、活力も湧いてきますね。

老人看護に生きがい



宮田 ミエさん (73歳・中米)

一人暮らしや寝たきりの方など、

入会の条件

資格 町内在任のおおむね六十歳以上の男女
会費 年一、〇〇〇円
※ 年一回の旅行、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、研修会などの行事もあります。

し、会員の送迎も計画しています。ふるってご応募ください。

利用者の声



大河内 ミエさん (75歳・勝岡)

田の草取りや稲刈、脱穀など農作業を中心にお願いしています。正月前には庭の手入れや植木のせん定もお願いしたんですよ。仕事はいいねだし、お値段は安いし、気軽に利用できますね。本当に助かっています。

お気軽にご利用ください



シルバー人材センターには、豊富な知識、技能をもった会員がそろっています。会社、個人を問わず、お気軽にご利用下さい。
☎五二一七二一五〇

シルバーの主な業務

- 教育相談、経営相談、結婚相談
 - 統計調査、アンケート調査
 - 賞状書き、宛名書き
 - 営業、物品販売、集金、店員
 - 建物管理、駐車場管理
 - ガラスふき、清掃作業
 - 草取り、草刈り、植木のせん定
 - 大工、左官、板金工事
 - 老人介護、病人看護、通院介護
 - 封筒入れ、袋詰め、包装
 - 雑役、家事手伝い
- その他数多くあります。



森 テルさん (75歳・夢池)

台風で倒れた壁木の修復をしてもらいました。一人暮らしで人手がないので、本当に助かりました。これまでも、二、三回倒れたことがありますが、念入りに一本一本くりつけてもらったので、もう安心です。

経験を生かして大工仕事



高畑 実男さん (67歳・山王原)

建設会社に長年勤めていたのですが、その経験を生かし、緑園の床板替えや雨どい、尾だれ、ぬれ縁作りなど大工仕事をしています。こまごまとした仕事は、本職の大工さんに頼みにくいし、それに値段も割安なので皆さんにとっても喜んでもらっています。やりがいがありますね。たまには都城や山之口まで出かけて行くこともあるんですよ。

シートベルト しめる心が身を守る

交通事故に遭ったときの致死率が、シートベルトを着用していない場合、運転席で十三倍、助手席で六倍にも上るのをご存じですか。現に、自動車乗車中の死者の七割以上を占めているのが、シートベルトをしていなかった人たちなのです。

若い人ほど着用率が悪い

車を運転するときにはシートベルトを着用する—こんな大切なことが、なぜ徹底されていないのでしょうか。

総理府が行った「交通安全に関する世論調査」(平成二年六月)によると、シートベルトに関する意識について、次のよう



な結果がでています。ふだん主に自動車運転する人、千八百八十人にシートベルトを着用するかどうかを質問したところ、「必ず着用する」と答えた人は七・二%でしたが、「必ずしも着用しない」と答えた人は二八・六%を占め、年齢が若くなるほどその割合は高くなっています。

また、着用しない理由としては「近距離(短時間)の運転が多いから」という答えが五二・一%でもっとも多く、以下「面倒だから」「窮屈だから」などとなっています。「窮屈だから」を理由に挙げた人は、女性に多くみられました。

着用・非着用が生死を分ける

シートベルト着用の効果は、万一交通事故に遭ったとき、ハンドルなどへの衝突や車外放出を防止し被害を軽減する、体の安全保護にあることはいまでもありません。一歩間違えば、尊い命までも奪われてしまう交

通事故。着用・非着用が生死を分けることにもなります。近距離だからといってシートベルトを着用しないというその理由の裏には、「近距離だから大丈夫」という油断があることにちよつとした心のスキから起こるもの—このことを決して忘れてはいけません。

事故に遭う可能性がないとはいえない

シートベルトの着用は、交通事故に遭ったときの被害を軽減するほか、事故の未然防止にも役立ちます。着用することによって、運転姿勢が正しく保たれ、視界が広がることも、確実なハンドル操作ができるようになります。シートベルトが、安全へのパスポート—といわれるゆえんが、こんなところにもあるのです。

高速道路での着用はもとより、昼夜を問わず、一般道路でのほんのちよつとした距離でも、面倒がらずにシートベルトを着用しましょう。あなたがいがい安全運転のルールを守る優秀なドライバーであっても、車を運転する以上、事故に遭う可能性がないとはいえないのです。



言葉の履歴書 まんじともえ

「まんじともえと降る雪」といえば、縦横に入り乱れて激しく降る雪の形容です。「凧」も「巴」も、古くから紋所として使われてきたデザインでした。「巴」はサンスクリット語の「万」の字で、インドの神にみられる胸毛の形から起こった印とされています。仏教では、仏の胸に描かれた吉祥のシンボル。地図の記号としては、寺院の位置を示します。

通常は左まんじ(凧)ですが、かぎの向きが逆だと右まんじ(凧)。ナチス・ドイツのマークとして知られたハーケン・クロイツ(かぎ十字)は、右まんじのデザインでした。

巴は「鞆絵」とも書き、鞆(船尾)で水が渦を巻く形を圖案化したものに。また、弓をひくとき、左ひじに付けた丸い革製の用具「鞆」の形や、模様からきたともいわれます。

図書館 だより (第52号)

表彰式

平成二年度 読書感想文・感想画 児童生徒四十二名
とき二月一日 当図書館で。
一次の皆さんが、入選者です。いずれも力作ばかりです。

読書感想文

- 一年特選 ながつつをはいたねこ 勝岡小 いわもとめぐみ
- 入選三股小 よしかわともみ
- 宮村小 おおみねちはる
- 二年特選 とべないホタル 三股西小 青石 りえ
- 入選勝岡小 かわのひろみ
- 梶山小 花岡 あかね
- 三年特選 かさじぞう 三股西小 合沢 純代
- 入選勝岡小 池田 美里
- 三股西小 富田 優子
- 四年特選 わすれるもんか 三股小 竹田 靖子
- 入選三股小 中西 悠太
- 勝岡小 西村 沙織
- 五年特選 きつと明日は 宮村小 野崎美智代
- 入選三股小 吹上のぞみ
- 三股西小 伊東由貴子
- 六年特選 にわかマラソン一家



紙面のつごう上、読書感想画の入選者は、次号に掲載します。なお、応募総数は小中合わせて作文は四〇四点、絵の方は八〇点でした。

- 梶山小 釘元 安子
- 入選三股小 中原 寿歌
- 宮村小 田代 恵理
- 中学校(三股中)
- 一年特選 さと子日記 木幡 愛
- 入選 石坂美紀子
- 関 佳美
- 二年特選 ライト兄弟 別府 弟
- 入選 徳留由加里 善家美都子

新刊図書のお知らせ

町立図書館では、次の図書を手しました。ぜひご利用ください。

- 書名 著者名
- 【一般向】
- ロートレック荘事件 筒井 康隆
- 桜田門外ノ変 吉村 昭
- わが性と生 瀬戸内寂聴
- 夜明けの新聞の匂い 曾野 綾子
- スパー雷鳥殺人事件 西村京太郎
- 猫とまたたび 江戸家猫八
- 真夜中は別の顔上・下 シドニー・シェルダン
- 伊香保殺人事件 内田 康夫
- 大のいる窓 平岩 弓枝
- 誘われて 森 瑤子
- 【小・中学生向】
- 一ねん一くみ一ばんげんき 後藤 竜二
- 一ねん一くみ一ばんげんき 後藤 竜二
- 一ねん一くみ一とうしよう 後藤 竜二
- 一ねん一くみもうすぐ春 後藤 竜二
- 書名 著者名
- 学研まんが人物日本史 徳川家光 田中 正雄
- 学研まんが人物日本史 勝海舟 ムロタニツネ象
- 学研まんが人物日本史 高杉晋作 堀江 卓
- 学研まんが人物日本史 北条早雲 伊東 章夫
- 学研まんが人物日本史 武田信玄 伊東 章夫
- 【幼児向】
- ノアのはこ舟のものがたり E・ボイド・スミス
- 二つのオランダ人形の冒険 F・K・アプトン
- フィッツェアブツツェ パウラ・デーメル
- まっ四角な動物絵本 アーサー・ウォー
- 子ども景色 アナトール・フランス
- 小さな王さま フリッツ・フォン・オステイーニ
- もじゃもじゃベーター ハイナリッヒ・ホフマン
- おとぎのアリス ルイス・キャロル
- ナンセンスの絵本 エドワード・リア

町の話題



「福祉のために役立てて」と

橋口さんが30万円を寄付

前目出身、調教師として活躍中



恵まれない人のために役立ててくださると、前目出身で日本中央競馬会の調教師として活躍している橋口弘次郎さん(45)が、このほど役場を訪れ、三十万円を寄付されました。

橋口さんは大学卒業と同時に競馬界に入り、十年前、百五十人中五人という難関を突破して調教師に。現在、滋賀県栗東町で橋口きゆう舎を経営。昨年の中央競馬会

では四十五勝し、リーディングトレーナーと優秀技術調教師賞を獲得されています。

寄付は、ご両親とお姉さんが三股でお世話になっているからとされたもので、福永町長は「ふるさこのことを思ってもらいたい、とてもうれしいです。橋口さんの意思に沿って活用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

「農村生活を考える会」を開く

町内の生活改善グループ

豊かな活力のある農村をつくるためには生活改善が不可欠と、町生活改善実行グループ連絡協議会(藤木ツツ会長)は、このほど「農村生活を考える会」を中央公民館で開きました。

入部役員、関係行政機関の職員など約五十名が出席。各グループの活動状況について報告があった後、特産品づくりや地域の活性化、生活改善グループの有成などについて活発な意見が交換されました。



健康走ろう会

小学生の男女 260名が参加

第十二回健康走ろう会は一月二十七日、勤労者体育センター前を起点・終点とする折り返しの一、三キロメートルのコースで行われました。大会には二百六十名の小学生が参加。ビストルを合図に距離別、男女別にスタートし、沿道に詰めかけた父母らの声援に全員が完走しました。



新春懇談会を開催

講師に鳥集忠男さんを招く

町の新春懇談会は一月十日、老人福祉センターに町三役はじめ、町議会議員や農業委員、公民館長、各種団体の長など百十名が出席して開かれました。



懇談会は、住みよい町づくりを進めようと毎年新春に開いているもの。今年は講師に都城市在任の民俗芸能研究家、鳥集忠男さんを招き、「ふるさとへの心」と題して講演。講師のユーモアを混ぜた話に、会場には時折笑いが起こっていました。

あいさつ運動・花いっぱい運動 五周年記念式典を開催

三股中

献血協力 ありがとう

東高校に町が記念品

「献血ありがとう」と、町はこのほど、献血事業の推進に貢献している都城東高校(曾木重忠校長、生徒数八百九十五名)に記念品を贈りました。

東高校では、生徒会が中心となる



この日は、福永町長が日赤関係者を伴って校長室を訪問、「みなさんの善意の献血で多くの尊い命が救われています。今後も献血に協力してください。」とお礼の言葉を述べました。



正しい確定申告を
お早めに!!

所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までとなっています。
確定申告は、あなたの昨年一年

間の事業や収入の総決算ともいえるものです。事業をされている方はもちろん、サラリーマンの方でも確定申告をしなければならぬ方は、早めに申告をお済ませください。
なお、納税相談の会場、日程は左記のとおりです。
◎二月二十六日(火)～二十八日(木)
三股町役場四階大会議室
(午前九時～午後四時)
◎二月十六日(土)～三月十五日(金)
都城税務署
(日曜・祝日及び第二、第四土曜日を除く)

ご利用ください
中途障害者雇用継続助成金

企業に採用された後、労働災害や病気、交通事故などにより、中途障害者となった労働者を継続して雇用する事業主に助成金を支給する制度です。

中途障害者のための作業施設を設置したり、設備の購入・借入れ、職場復帰のための指導・訓練など職場適応措置を行う事業主に助成金を支給します。
中途障害者が職場復帰または、その予定がある場合などは申請期間もあります。詳しくは左記にお問い合わせください。
都城公共職業安定所
☎(二二)一七四五
宮崎県障害者雇用促進協会
☎〇九八五～二九〇九〇五二

今月の納税
固定資産税
4期

滞納しないよう
早めに納入を

愛の「ご寄付」

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいたしました。故人のご冥福をお祈りいたし、またと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきました。誠にありがとうございます。

- 平成二年十二月一日から
平成三年一月三十一日まで
- 寄付者 続柄 故人名 地域 金額
- 盛田 善子 夫 清隆 80 小樽里 五万円
 - 高木 昭 次男 二郎 81 森本 三万円
 - 下村サチ子 母 上水チエ 81 中米 二万円
 - 西畑 米政 母 ハカ 93 聖池 二万円
 - 中戸トモエ 夫 重治 70 東原 一万円
 - 川越 庄助 妻 ケイ子 45 飯屋 二万円
 - 時任 昇 夫 勝己 68 谷 二万円
 - 高野 ツル 母 イマ 99 飯屋 二万円
 - 西村 節男 母 キヨ 91 下新 二万円
 - 猿渡 征夫 父 辰矢 78 勝岡 三万円
 - 中西 フミ 母 フキ 86 樺田 二万円
 - 深江八千代 夫 正 42 谷 三万円

愛の献血



次のとおり献血にご協力いただきました。
○一月二十一日
三股町役場(来庁者含む) 四七名
○一月二十八日
都城東高等学校 四二名
誠にありがとうございます。今後とも皆様のあたたかいご協力をよろしく願います。

三股町の人口

平成3年2月1日現在
男 9,999人 出生26人
女 11,151人 死亡21人
計 21,150人 転入72人
前月比+25人 転出52人
世帯数 6,883戸

- 濱具知雄勝 母 マカ 82 三原 三万円
鎌倉 一秋 父 敦 84 桃山 二万円
藤 静子 夫 清 82 前目 三万円
池田サチエ 夫 秀義 79 東原 三万円
上村久義 妻 キエ 71 山王原 三万円
大崎 安忠 母 フジ 76 大野 二万円
大崎 安忠 父 利行 69 大野 二万円
加賀谷サチ子 夫 武晴 53 樺田 五万円
上水 シメ 夫 早雄 79 樺田 二万円
中原 貞夫 母 ミヅエ 86 前目 三万円
内村 照子 夫 征雄 54 山王原 五万円
山田豊太郎 母 夕美 97 東原 三万円
内田トシ子 夫 渥美 63 樺本 三万円
山元キミエ 夫 兼雄 78 上新 三万円
月野アキエ 夫 一 80 樺本 三万円